

宮城県
わくやちょう
涌谷町との
友好交流協定を
可決

山形県大石田町 宮城県涌谷町
友好交流協定調印式

涌谷町民憲章
緑豊かな山を仰ぎ
清流は命の源を自然に育まれ
祖先の輝かしい歴史を受け継ぐ
私たちは、次代に引き継ぐ
明るい郷土を築くために
「みんながすこやかに
「温かい心のふれあいを深め

活発な交流に期待

山形県大石田町 宮城県涌谷町
友好交流協定書

山形県大石田町と宮城県涌谷町は、東日本大震災を契機に自治体間の友好交流の重要性をあらためて認識し、相互の信頼と尊敬を礎として友好関係を構築するため、ここに友好交流協定を締結する。

両町及びその町民は、文化、教育、産業、まちづくりなど幅広い分野における交流を通じて、更なる発展とお互いの理解と連携を深めることに努めるものとする。
また、災害時には相互に応援協力するものとし、その細目は別に定める。

この協定締結の証として本協定書2通を作成し、記名押印の上、各1通を保管する。

平成25年9月20日

山形県北村山郡大石田町緑町1番地
大石田町長 庄司 喜與太

宮城県遠田郡涌谷町字新町裏153番地2
涌谷町長 安部 周治

東日本大震災後、特に被災地自治体では県外自治体との協力関係を築こうとの気運が強まってきました。

宮城県北部の涌谷町も大震災では震度6強に襲われ、ライフラインが寸断されたこともあり、県外自治体との協力関係を模索していました。

わが大石田町も有事に備えるとともに交流人口の増加等を目的に友好自治体を探していたこともあり話が進展し、9月20日に涌谷町役場で両町長

が協定書に署名、押印し固く握手を交わしました。庄司町長はあいさつで「災害時の行政サービス維持には自治体間の協力が重要。奥羽山脈を挟んで両町が互いに発展していけるよう進めたい。」と述べました。

議会でも遠い関東圏より隣県宮城との交流を進めてはと強調されていただけに、この締結を機に交流人口が増加し町産業の活性化につながることを期待したいと思います。

(記 小林)

